

価値交流学习

目的

すべての人々が「健康一番」と、考えているわけではない。患者・利用者の価値観は多様であり、健康以外のものを大切に暮らしている人もいる。

健康以外のものを大切にしている人に対して、その価値観を頭ごなしに否定して、「健康が一番が当たり前ですよ」と押し付け的にかかわれば、信頼関係を築くことは難しくなる。頭ごなしに否定するのではなく、まずは相手の話に耳を傾け、相手が健康以外のものを大切にしている背景を十分に理解することが、効果的な援助には欠かせない。

ここで紹介する価値交流学习に取り組み、参加者間で価値観を比較することにより、価値観の多様性を理解することができる。さらに、価値観の違いを話し合い、相互理解を深めることを通して、多様な価値観を受容する態度の形成・強化をねらう。

方法

①ワークシート「価値交流学习」（表1）を使い、七つの項目（権力、健康、学歴…）について、まずは1人で自分の優先順位を決めて、一番大切なものから順に1～7の数字を、「自分の順位」に記入する。

②3～4人1組でグループを作り、他の人の名前と優先順位を、「他者の順位」に書き写す。次に、各項目における自分と他者との優先順位の差（ズレ）を、他者ごとに「自分との差」に記入する。負号(-)はつけず、数字のみを記入する。さらに、自分との差の合計（ズレの合計）を他者ごとに求めて、「差合計」に記入する。

③優先順位に関して他者と10分間ほど話し合い、合意できたものだけを「合意順位」に記入する。結論が出なくても構わないので、多数決を取ったりせずに、話し合いの過程を大切にする。話し合いの過程では、「善い／悪い」「好き／嫌い」「正しい／間違い」などの批評を一切せずに、それぞれの考えに対して十分に耳を傾ける。

補足

この価値交流学习では、グループ内で話し合った際に、合意順位が決まらなくても構わない。話し合うことで互いの理解が深まり、「私の愛情一番は変わらないけど、相手がお金を一番にしているのもよくわかる」というように、自分と異なる価値観の相手を受容することに至れば、目的が達成されたことになる。

文献

- 1) 諏訪茂樹：対人援助とコミュニケーション 第2版 ―主体的に学び、感性を磨く―。中央法規出版，2010

表1 ワークシート「価値交流学习」

		権 力	健 康	学 歴	愛 情	名 誉	金 銭	誠 実	差合計
自分の順位									
他者の順位									
	自分との差								
	自分との差								
	自分との差								
合意順位									

表2 ワークシート「価値交流学习」の記入例

		権 力	健 康	学 歴	愛 情	名 誉	金 銭	誠 実	差合計
自分の順位		7	1	6	2	5	4	3	
他者の順位	太郎	6	2	5	1	7	3	4	
	自分との差	1	1	1	1	2	1	1	8
	花子	3	7	5	2	4	1	6	
	自分との差	4	6	1	0	1	3	3	18
	自分との差								
合意順位				5	2				

(諏訪茂樹)